

2026年度 第2四半期 決算説明資料

2026.10.22

四半期決算 概要

(単位:百万円)	FY2026 2Q	FY2026 1Q	QoQ		FY2025 2Q	YoY	
			差額	(%)		差額	(%)
売 上 高	142,750	114,308	28,443	24.9%	104,622	38,128	36.4%
売 上 総 利 益	102,374	81,543	20,831	25.5%	72,748	29,626	40.7%
GP率	71.7%	71.3%	0.4p	-	69.5%	2.2p	-
販 売 管 理 費	34,768	32,509	2,259	6.9%	28,357	6,411	22.6%
営 業 利 益	67,606	49,033	18,572	37.9%	44,391	23,214	52.3%
経 常 利 益	65,995	48,441	17,554	36.2%	45,466	20,529	45.2%
経常利益率	46.2%	42.4%	3.8p	-	43.5%	2.7p	-
税 前 利 益	65,342	48,410	16,932	35.0%	44,918	20,424	45.5%
純 利 益	46,144	34,221	11,923	34.8%	32,145	13,999	43.5%

売 上 高: YoY 機械装置の検収進捗および消耗品出荷堅調により増収
 G P 率: YoY 為替影響および高付加価値製品等により収益性向上
 販売管理費: YoY 人件費や研究開発費が増加

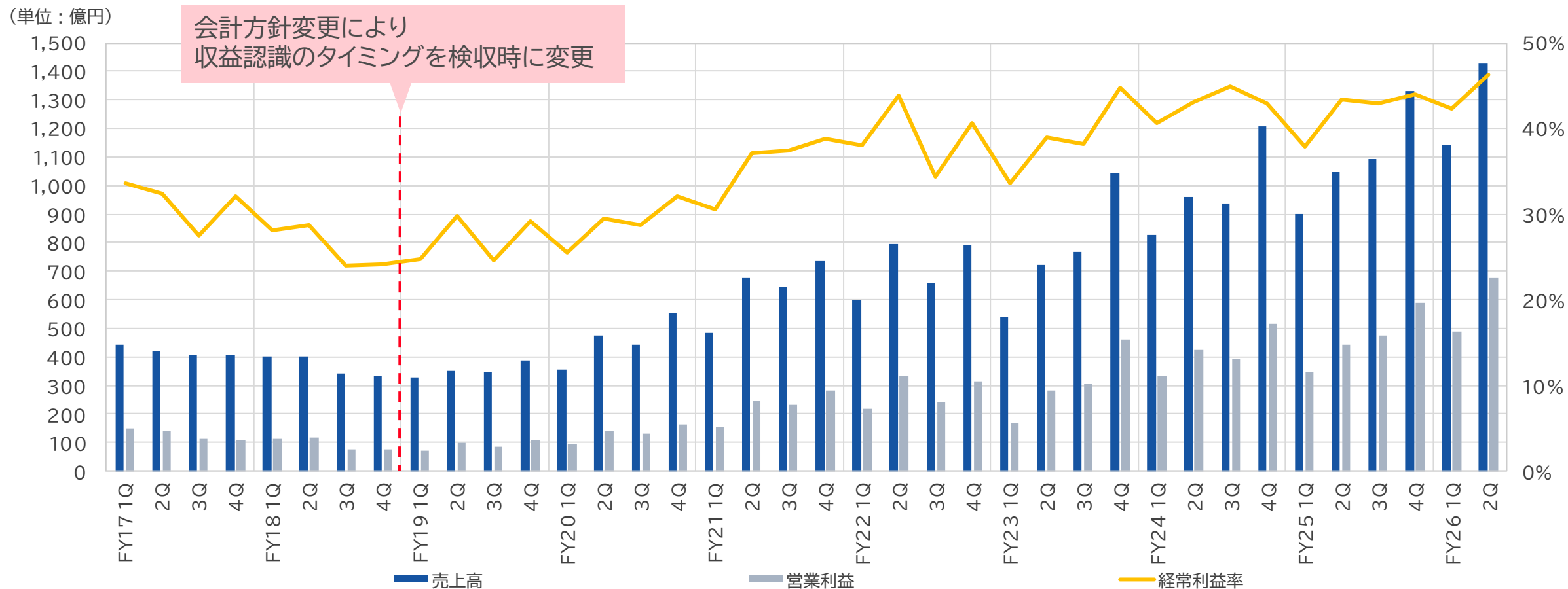
半期決算 概要

(単位:百万円)	FY2026 1H	FY2025 1H	YoY	
			差額	(%)
売 上 高	257,058	194,537	62,521	32.1%
売 上 総 利 益	183,917	134,009	49,908	37.2%
GP率	71.5%	68.9%	2.6p	-
販 売 管 理 費	67,277	55,138	12,140	22.0%
営 業 利 益	116,639	78,871	37,768	47.9%
経 常 利 益	114,437	79,465	34,972	44.0%
経常利益率	44.5%	40.8%	3.7p	-
税 前 利 益	113,753	78,571	35,182	44.8%
純 利 益	80,366	55,913	24,454	43.7%

売 上 高:
G P 率:
販売管理費:

生成AI向けを中心に出荷増・検収進捗により増収
為替影響および高付加価値製品等により収益性向上
人件費や研究開発費を中心に増加

業績 四半期推移



FY26_2Q 営業利益率47.4% 経常利益率46.2% 純利益率32.3%

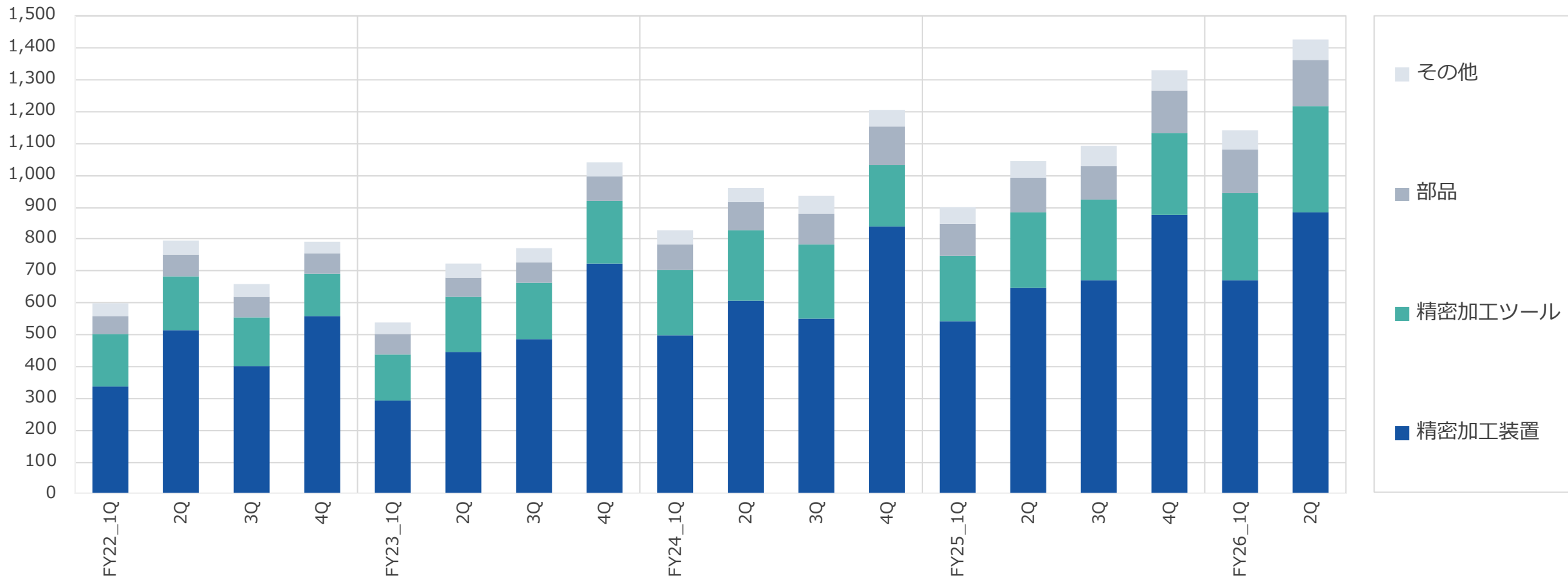
※数値推移は、Webサイト「補足情報」に記載

製品群別売上高 四半期推移

検収



(単位：億円)



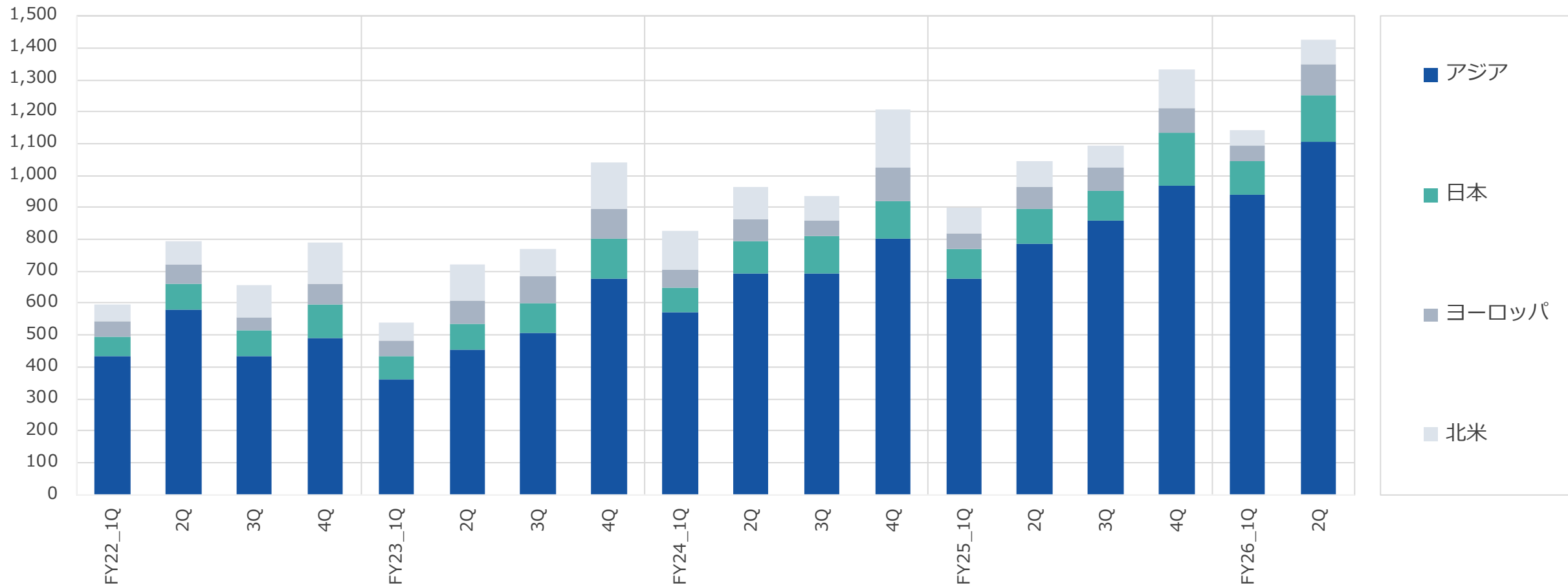
※構成比数値は、Webサイト「補足情報」に記載

地域別売上高 四半期推移

検収



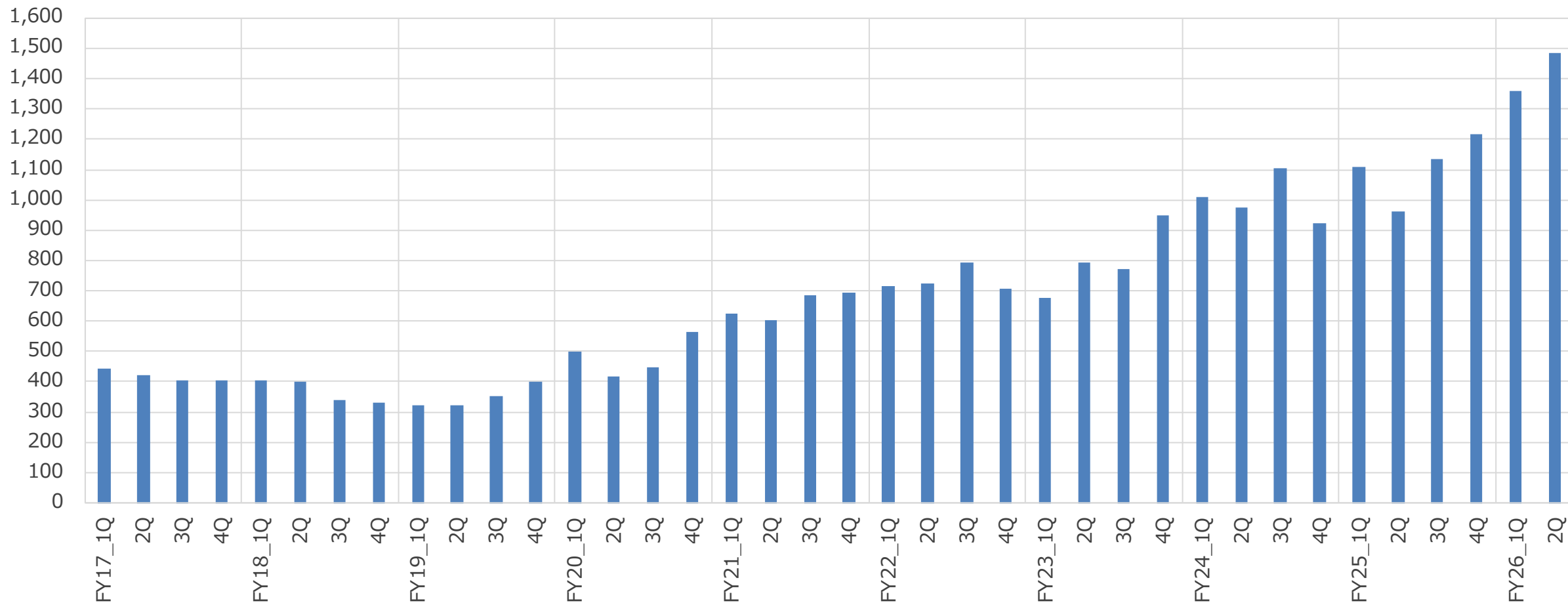
(単位：億円)



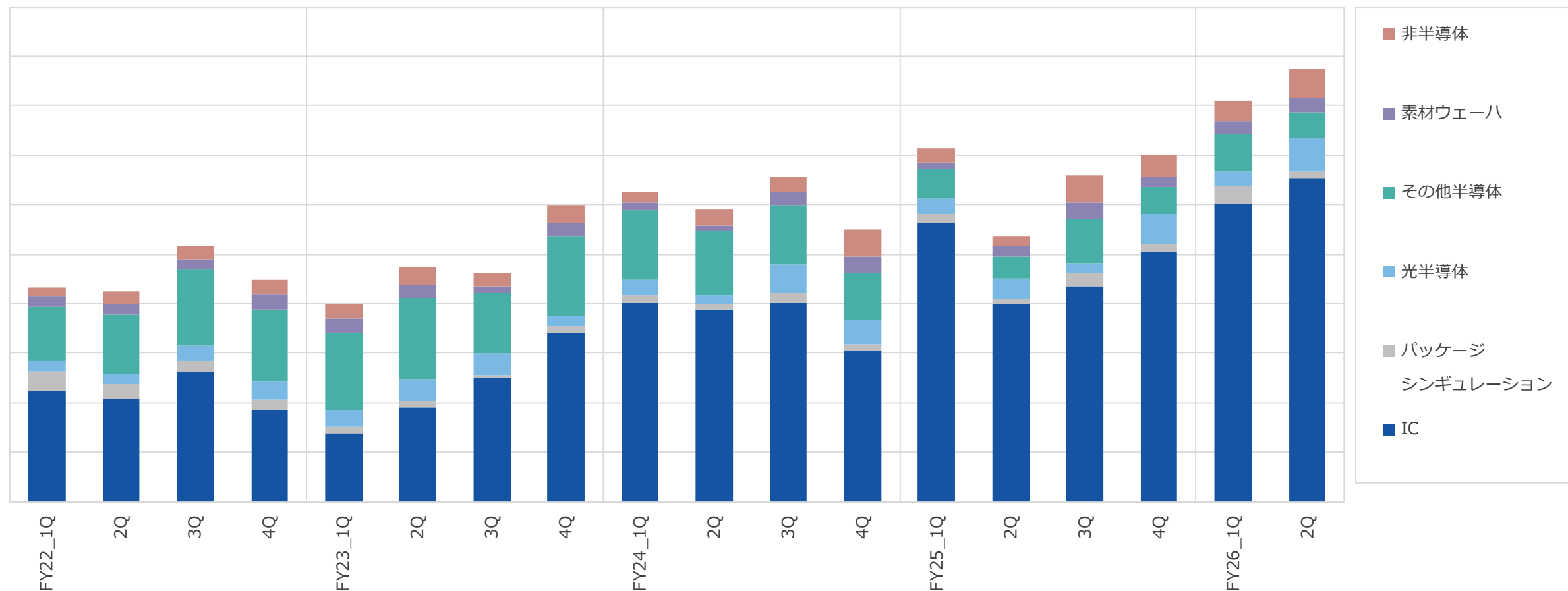
FY26_2Q 海外売上高比率 89.7%

出荷額推移

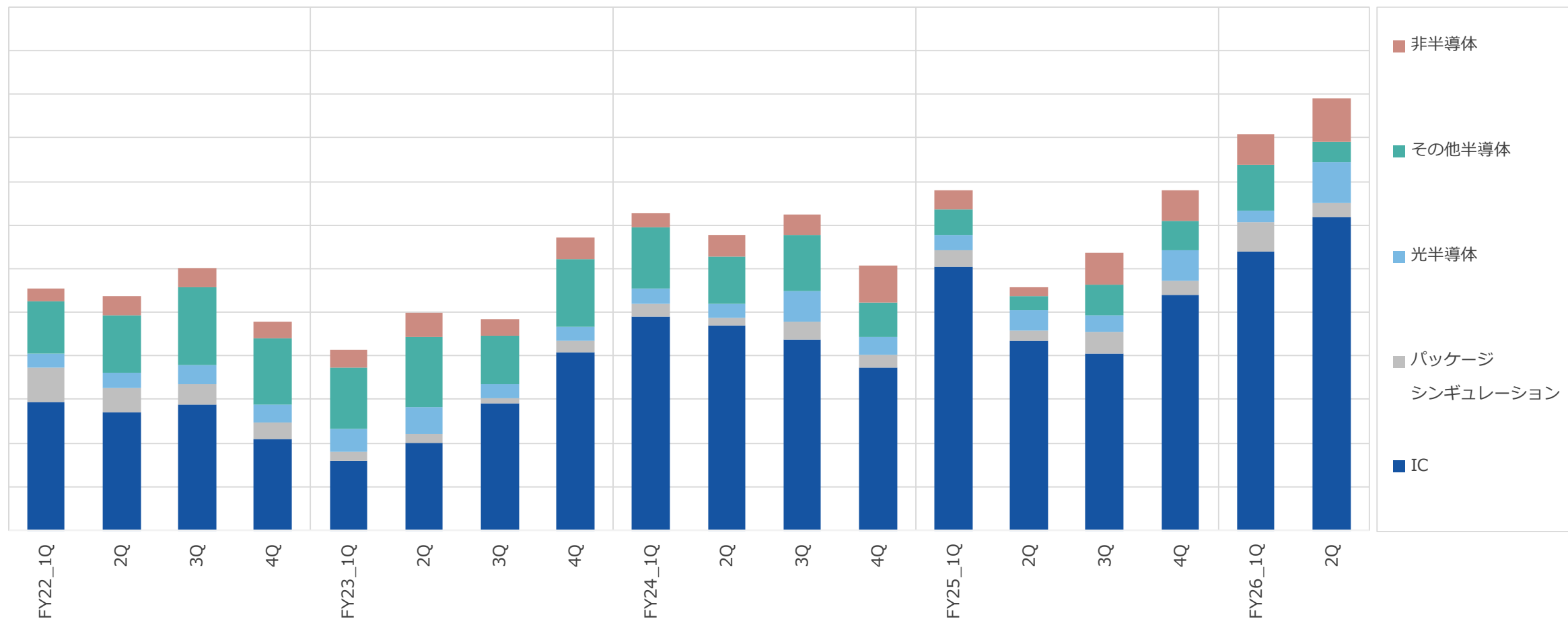
(単位：億円)



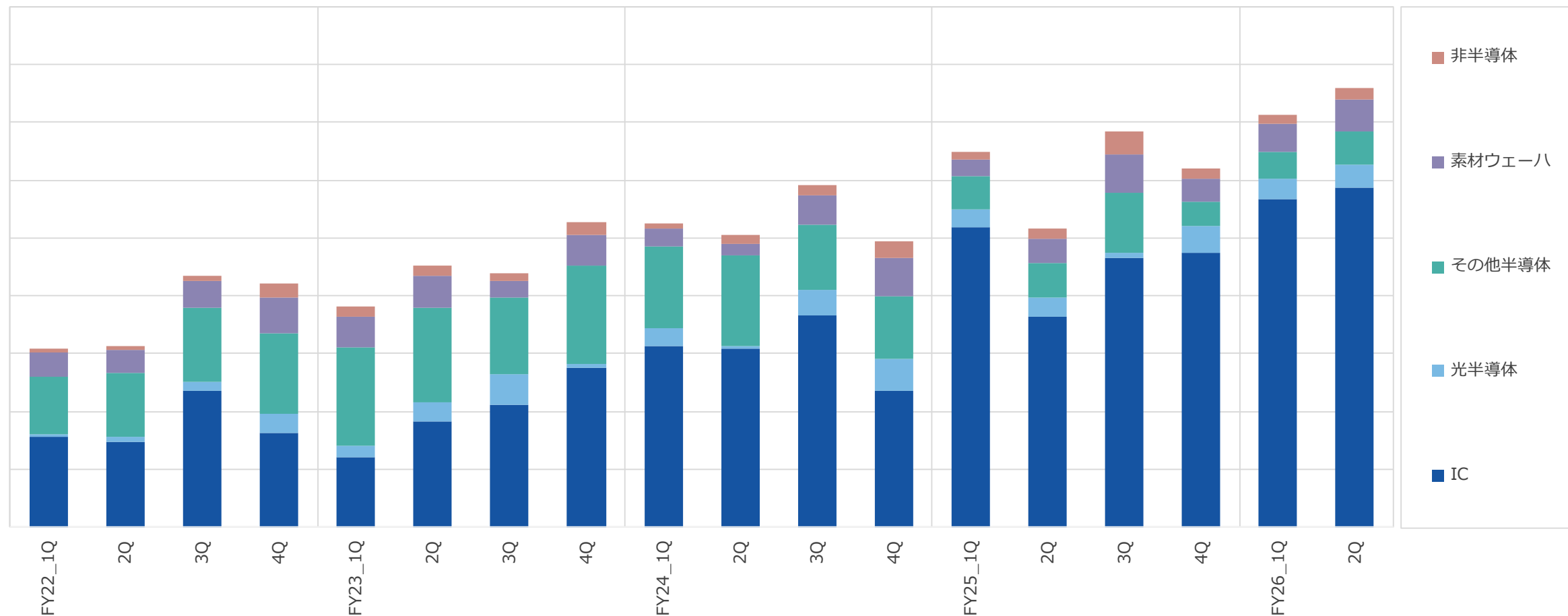
FY26_2Q 出荷額 1,486億円 (過去最高)



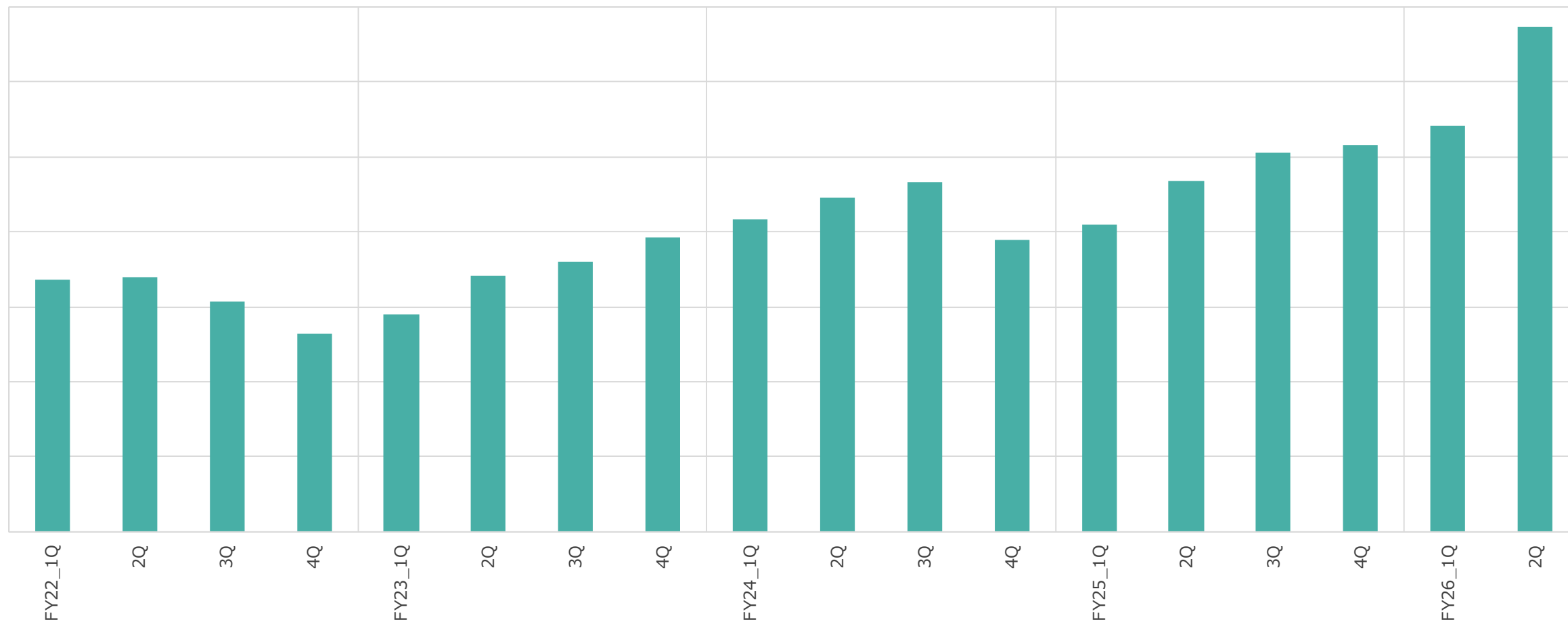
QoQ 生成AI向けを中心としたIC向けに加え、CPO(Co-Packaged Optics)関連の光半導体・光部品(非半導体)向けが増加



QoQ 生成AI向けを中心としたIC向けに加え、CPO(Co-Packaged Optics)関連の光半導体・光部品(非半導体)向けが増加



QoQ 生成AI向けを中心とする高水準のIC向けが全体を牽引



顧客の設備稼働率等により前四半期と比べ大幅に増加し過去最高を更新

バランスシート(抜粋)

(単位:百万円)	FY2026 2Q	FY2026 1Q	差額
現金及び預金	342,411	283,892	58,519
受取手形・売掛金	57,767	58,596	-829
棚卸資産	160,819	152,953	7,866
流動資産	572,766	503,423	69,343
有形固定資産	226,925	223,925	3,000
固定資産	251,817	247,735	4,082
総資産	824,584	751,159	73,425
流動負債	194,576	167,542	27,034
固定負債	994	1,093	-100
負債合計	195,570	168,636	26,934
純資産	629,013	582,523	46,490
負債純資産合計	824,584	751,159	73,425
自己資本比率	76.1%	77.3%	-1.2p

総資産: 現預金増加のほか、原材料を中心に棚卸資産が増加
 負債: 未払法人税や契約負債(出荷時入金のものを含む)を中心に増加
 純資産: 主に利益剰余金が増加

キャッシュ・フロー(抜粋)

(単位:百万円)	FY2026 1H	FY2025 1H	差額
営業キャッシュ・フロー	111,708	39,683	72,025
税前当期利益	113,753	78,571	35,182
減価償却	7,809	6,990	819
売上債権の増減	-496	-9,402	8,906
棚卸資産の増減	-19,496	759	-20,256
仕入債務の増減	9,011	-8,138	17,149
法人税支払い	-23,127	-31,310	8,183
その他営業CF	24,254	2,213	22,041
投資キャッシュ・フロー	-54,814	-15,274	-39,540
有形固定資産の取得	-12,896	-14,907	2,011
その他投資CF	-41,918	-367	-41,551
フリー・キャッシュ・フロー	56,893	24,408	32,485
財務キャッシュ・フロー	-40,617	-31,249	-9,367
配当金支払い	-40,768	-31,321	-9,447
現金同等物増減	16,052	-6,257	22,309
期首残高	184,575	229,167	-44,591
期末残高	200,627	222,909	-22,282

・営業CF・・・約1,117億円 資金増加
主に税前利益による資金増加

・投資CF・・・約548億円 資金減少
定期預金の増加および有形固定資産の
取得による支出

・フリー・キャッシュ・フロー
約568億円の資金増加

・財務CF・・・約406億円 資金減少
主に配当金の支払い

→ 9月末の現金残高 約2,006億円

(単位:億円)

今回予想

	FY25 1Q	2Q	3Q	4Q	FY26 1Q	2Q	3Q
売上高	899	1,046	1,093	1,331	1,143	1,428	1,324
営業利益	345	444	473	588	490	676	581
経常利益	340	455	470	585	484	660	590
純利益	238	321	367	429	342	461	415
営業利益率	38.3%	42.4%	43.3%	44.2%	42.9%	47.4%	43.9%
経常利益率	37.8%	43.5%	43.0%	44.0%	42.4%	46.2%	44.6%
純利益率	26.4%	30.7%	33.6%	32.2%	29.9%	32.3%	31.3%
出荷額	1,111	963	1,136	1,216	1,359	1,486	1,496

※億円未満 四捨五入

想定為替レート 3Q(10-12月期)
為替感応度(年換算)

US\$:151円
US\$:約21億円

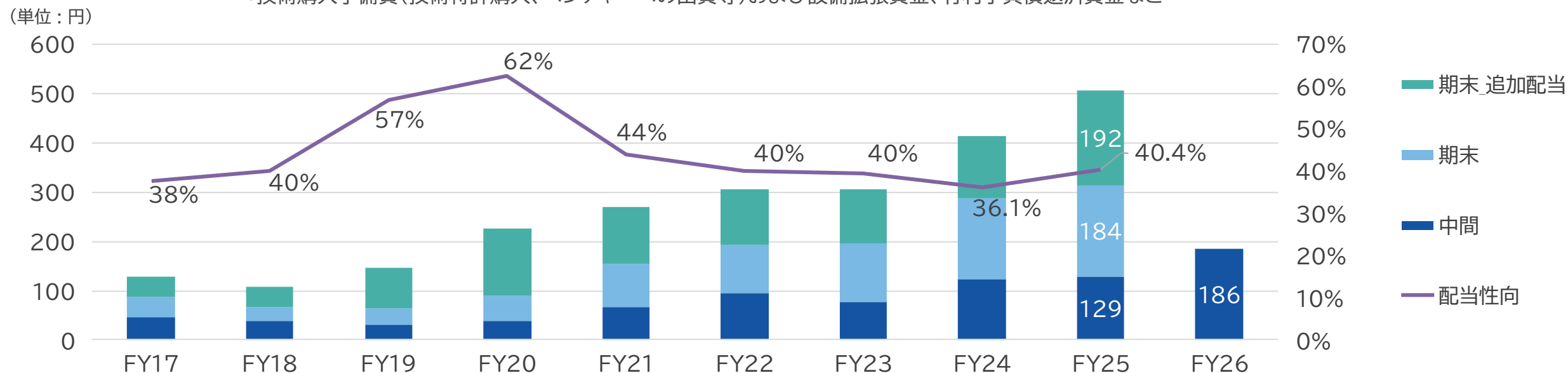
Euro:173円
Euro:約1億円

配当政策および配当額

【配当方針】

1. 期末、中間の年2回、連結半期純利益の25%を配当する
2. 安定配当として半期10円(年間20円)を維持。ただし3期連続で連結純損失の場合を除く
3. 年度末時点で赤字の場合を除き、配当及び法人税支払い後の現預金残高が予定必要資金額(*)を超過した場合は、上記1.に加え、超過金額の3分の1を目処に配当に上乗せする(追加配当)

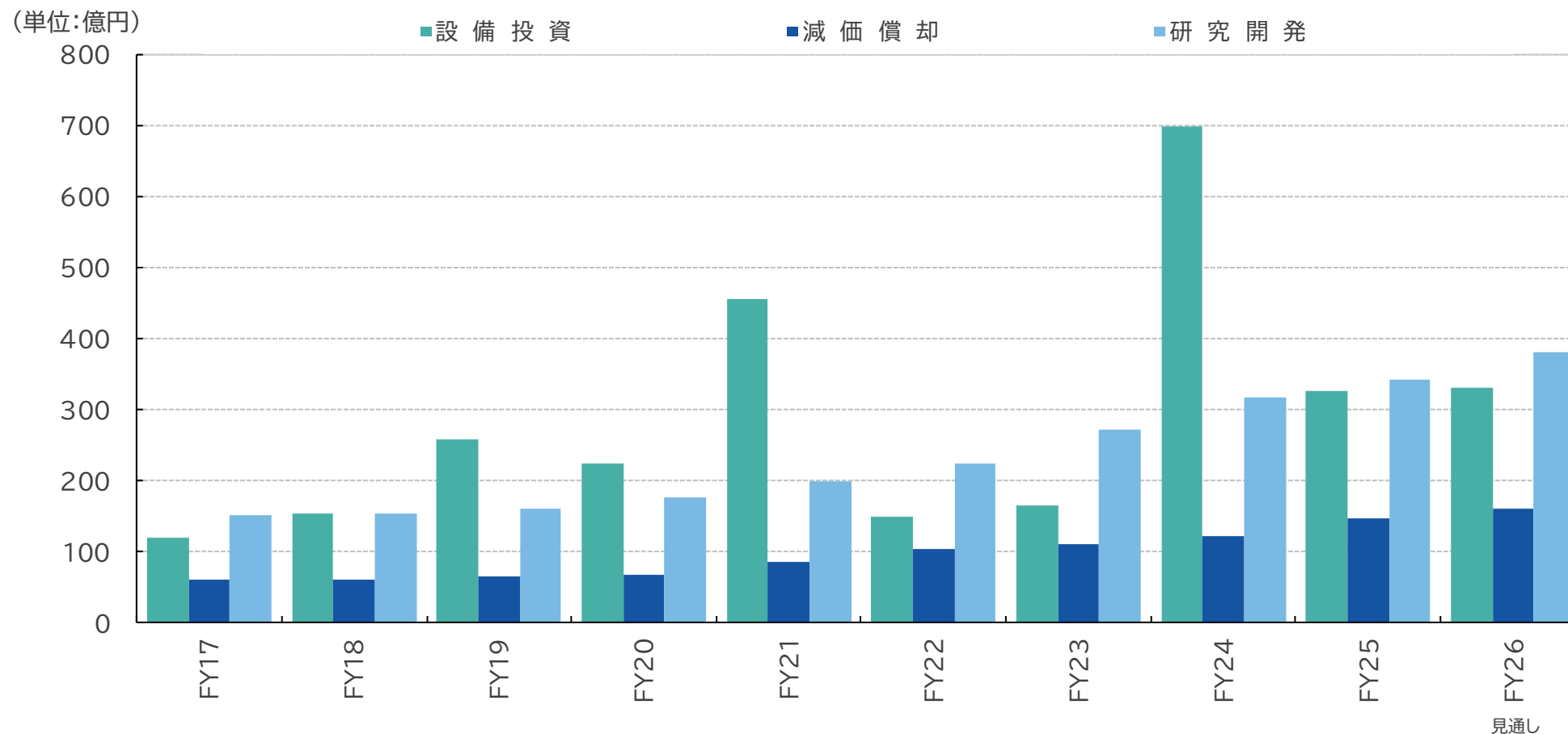
*技術購入予備費(技術特許購入、ベンチャーへの出資等)および設備拡張資金、有利子負債返済資金など



FY26 中間 (実績) 186円 期末:未定

※2023年4月1日付けで普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施
(FY22以前の配当推移は当該株式分割が行われたと仮定して記載)

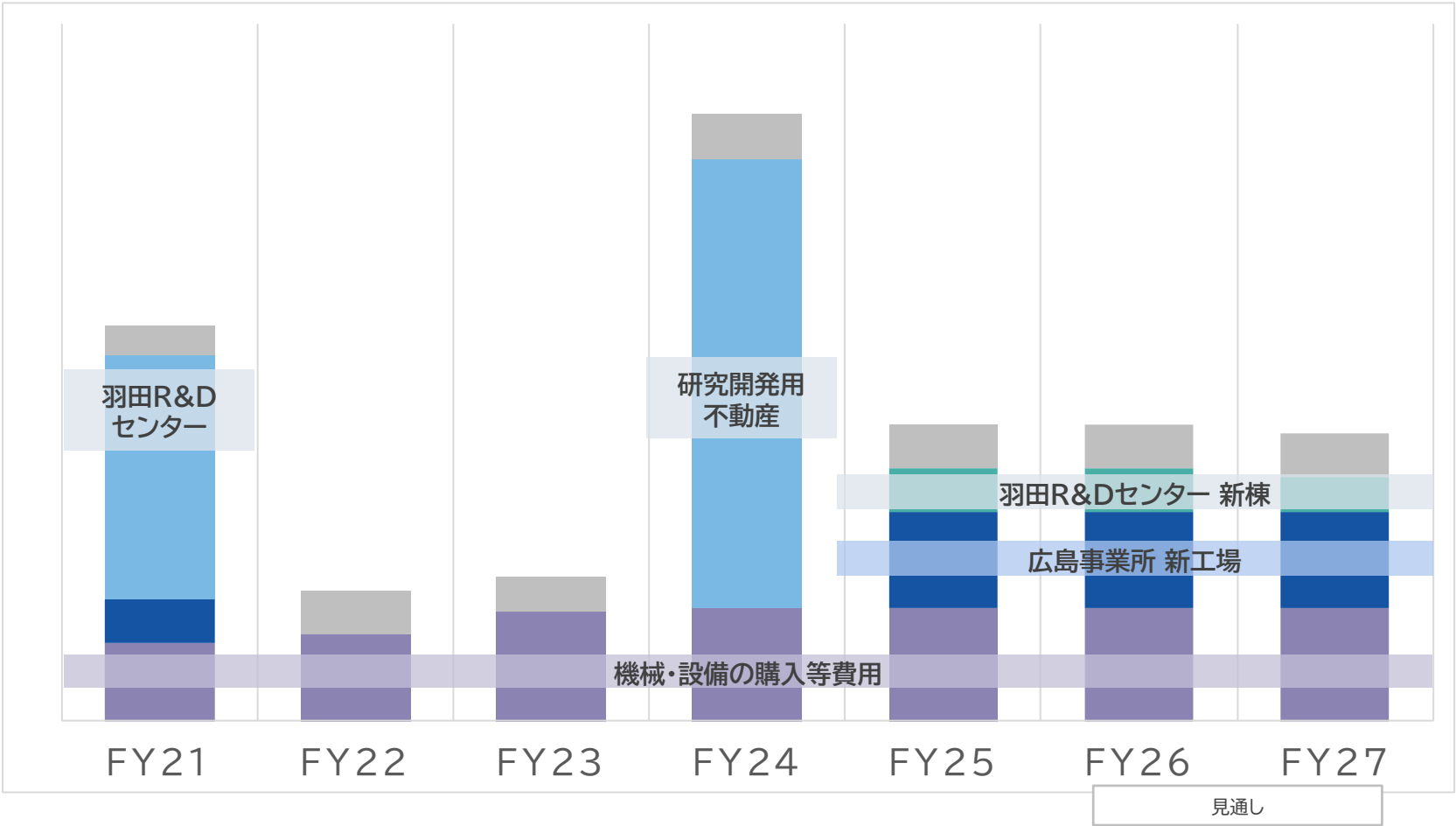
R&D/CAPEX 見通し



FY26見通し

設備投資:約330億円 合理化投資、羽田R&Dセンター建替、新工場建築を含む
減価償却:約160億円
研究開発:約380億円 積極的な研究開発活動を継続

CAPEX 内訳イメージ



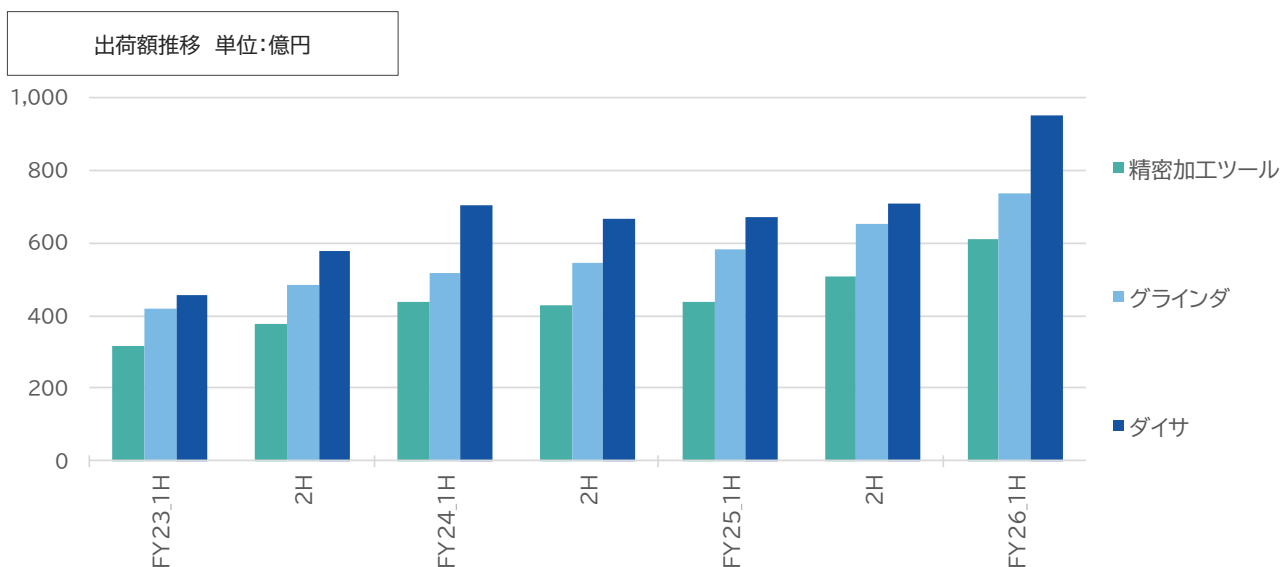
羽田R&Dセンター 新棟
広島事業所 新工場

約140億円 支出時期: FY25~FY27
約330億円 支出時期: FY25~FY27

製品群		見通し FY26_3Q 増減率（QoQ）
	ブレードダイサ	-5%
	レーザソー	0%
	ダイサ	微減
	グラインダ	10%
	周辺装置	10%
精密加工装置		5%
精密加工ツール		-5%
その他		-10%

■ 出荷動向: 上期出荷額が過去最高を更新(YoY約4割増)

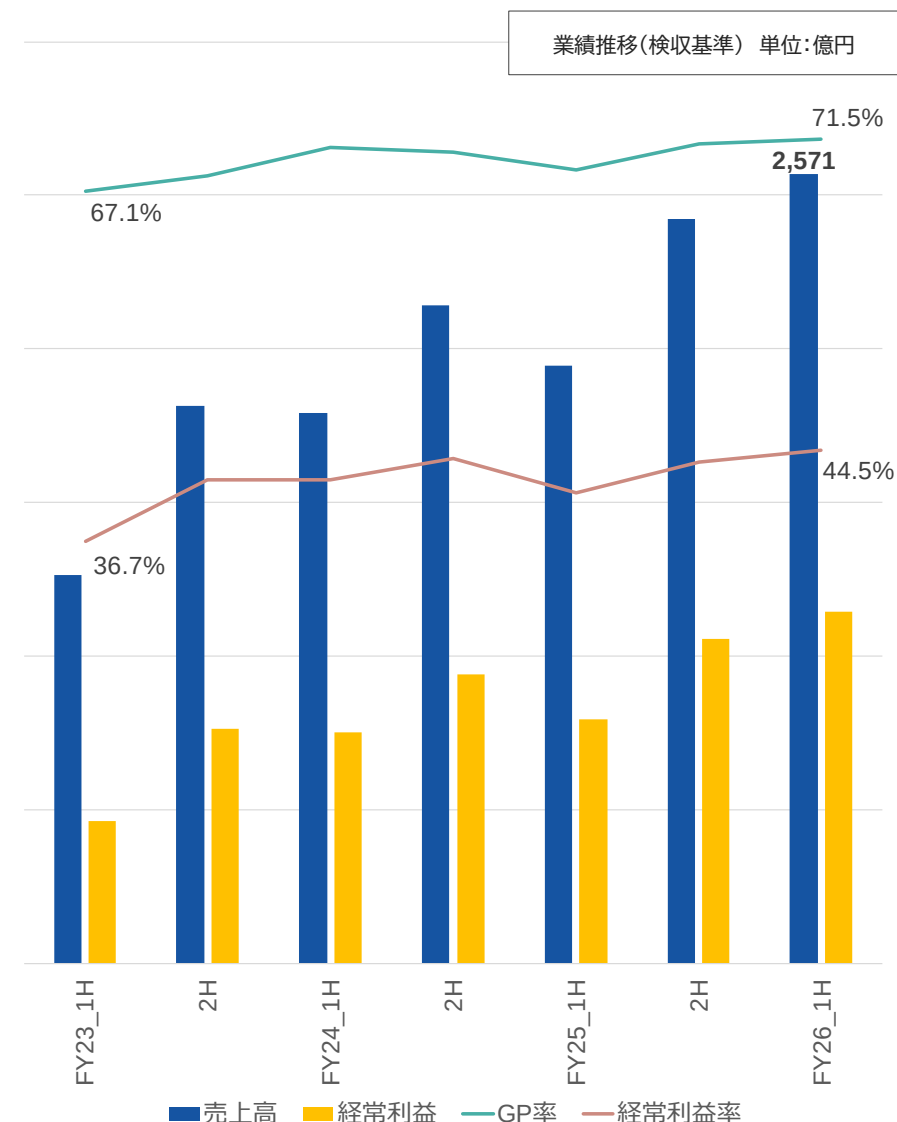
- ・ 生成AI向け需要を中心に、ダイサ・グラインダともに出荷が伸長
- ・ 高水準の装置・消耗品需要への対応が続き、工場の繁忙が継続



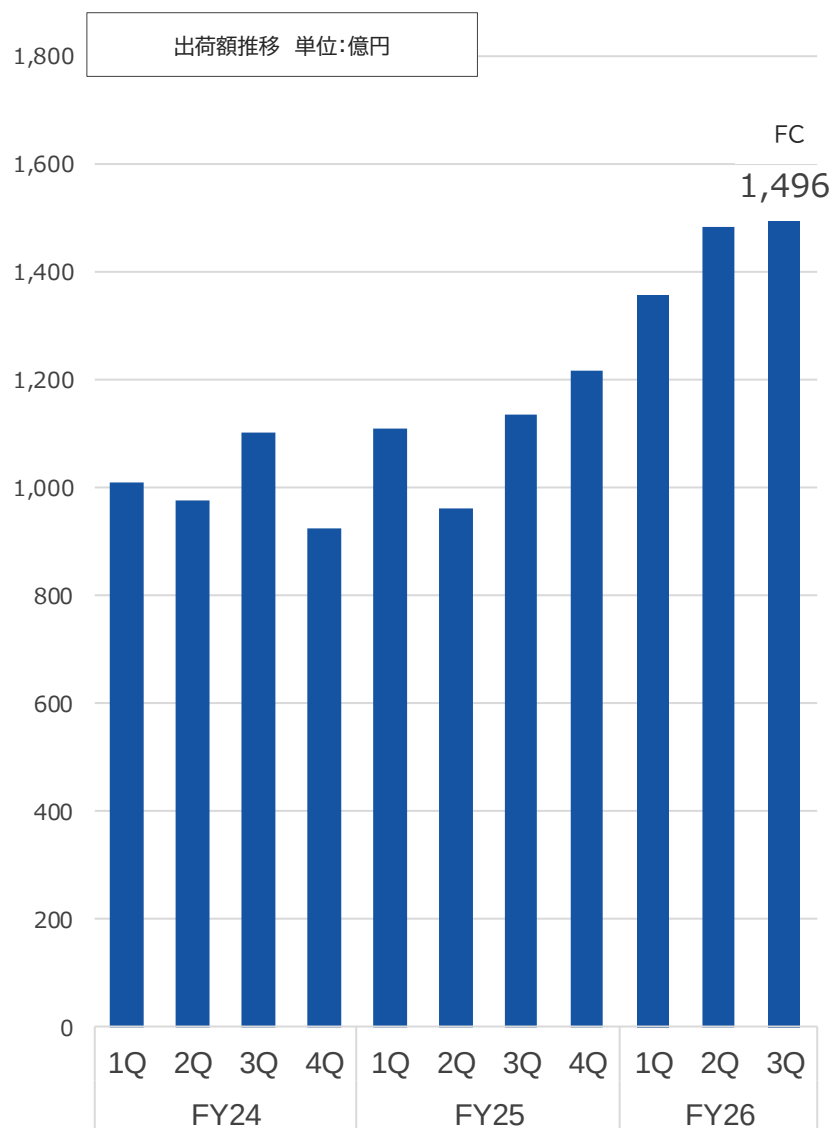
■ 業績: 収益性が一段と向上し、過去最高を記録

- ・ 為替の恩恵に加え、精密加工ツールを中心としたGP率の上昇が寄与

■ 中間配当: 業績連動により増配 今回186円（前年129円）



2026年度 今後の見通しと取り組み



- 生成AI向けの旺盛な需要を背景に、装置・消耗品ともに出荷の拡大が継続
- 半導体パッケージ技術の進化に伴い、KKM需要は拡大
加工量の増加、加工難易度の上昇、加工対象の拡大が中長期的な成長機会に
- Fab Important戦略のもと、生産能力を着実に強化
設備投資、生産支援、効率化、内製化など、多面的な取り組みを通じて生産体制を進化
- 良質な企業文化を磨き続け、会社を強くする
DISCO VALUES、Will会計、PIM活動など、組織の競争力を高める取り組みを継続

製品・用途・地域別 構成比

製品別（出荷額）			
FY26 2Q			
項目	構成比	QoQ	YoY
精密加工装置合計	63%	8%	66%
ダイサ	33%	9%	77%
ブレードダイサ	18%	16%	67%
レーザー	15%	2%	91%
グラインダ	26%	6%	47%
周辺装置	4%	4%	149%
精密加工ツール	23%	24%	45%
その他	14%	-2%	26%
出荷額合計	100%	9%	54%

用途別（出荷額）	
FY26 2Q	
ダイサ	構成比
IC	73%
パッケージ・シグナレーション	3%
光半導体	10%
その他半導体	5%
非半導体	10%
グラインダ	構成比
IC	77%
光半導体	5%
その他半導体	8%
素材ウェーハ	7%
非半導体	3%

地域別（検収）	
FY26 2Q	
地域別	構成比
日本	10%
アメリカ	5%
アジア	78%
シンガポール	8%
台湾	26%
韓国	11%
中国 ※	31%
その他	2%
ヨーロッパ	7%
合計	100%
※外資メーカー現地工場向け含む	

当社ではMissionの実現性の向上に取り組むことで、結果として企業価値の向上と競争力向上に繋がり、資本市場の皆さまの期待に応えることができると考えています

- ✓ 事業の質の追求
- ✓ 自己資金の活用と目的
- ✓ 株主還元方針
- ✓ 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

上記の考え方について[詳しくはこちら](#)をご確認ください

本資料について

掲載内容に関しては細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や第三者によるデータの改ざん等に関し、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本資料は投資勧誘を目的にしたものではありません。投資はご自身の判断において行われるようお願いいたします。

表記について

年間の会計期間である4月～翌年3月までをFY(Fiscal Year)と表記し、四半期の会計期間は4-6月を1Q、7-9月を2Q、10-12月を3Q、1-3月を4Qと表記しています。金額単位に応じて、単位未満の金額を四捨五入または切り捨て処理しており合計値が合わない場合があります。

%は実際の金額を基に算出しています。

将来の見通しに関する注意事項

この資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。実際の業績はさまざまな重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動ならびに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。

英語圏の方々のために英語資料を提供する場合、和文（原文）と英訳の内容が相違した際は和文の内容が優先されます。

本資料の著作権は当社に帰属しており、無断での転載は禁じられています。私的使用その他法律によって明示的に認められる範囲を超えて、本資料を使用（複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、ライセンス、販売、出版等を含む）するためには、当社の事前の明示の許諾が必要です。

<https://www.disco.co.jp/>